

# B3 病棟

主に消化器内科、循環器内科、整形外科の患者さんが入院されています

10代から90代の方まで幅広い年代の方が入院されており、整形などの急性期の患者さん、循環器や消化器系の慢性期疾患を抱えている患者さん、終末期の患者さんが入院されています。

急性期の看護、がん患者への看護（化学療養、放射線療法）終末期患者さんに対しては最期に向けての看護や家族ケアなど、幅広い看護が学べる病棟です。

そのため、知識的な部分はもちろんですが、様々な看護技術の取得も出来る病棟です。



B3病棟の1番の魅力は”スタッフ同士の意見交換が盛んである”という事です。

病院内で1番最初にPNS制度を取り入れた病棟であり、日々患者さんを受け持つ上でペア同士でのコミュニケーションが円滑に行われています。新人看護師からベテラン看護師まで幅広い年代の看護師がペアを組み、それぞれの意見を持ち寄り話し合いながら、日々看護が行われているので、チーム全体で患者さんを看ているという安心感を実感しながら仕事に取り組むことが出来ています。また、いろいろな看護師とペアを組んで仕事をする事が出来るので、それぞれの看護観を吸収して自分の看護観を深めることができます。スタッフ同士も仲が良く、気がかりなことや悩んだ時などはすぐに相談できる環境であることもB3病棟の魅力です。



また、新人看護師に対しての教育も手厚い病棟だと思います。グループで育てていく方針なので、新人看護師1名に対してそれぞれグループがあり、グループ内での学習面のサポートはもちろん、精神的なサポートも出来るように定期的に他愛のない話や相談ができる場が作られています。また、別のグループに所属していても、日々の受け持ちをする中でペアを組んで仕事することも多いため、スタッフ全体で新人看護師を育てるという意識が高い病棟だと思います。

病床数が多く、患者さんの回転率が高いため忙しいと感じる事も多いですが、その分やりがいも感じられる病棟です。B3病棟での様々な看護を通して、自分の興味がある分野を深めてみませんか？

皆さんと一緒に働ける日をスタッフ一同心よりお待ちしております。